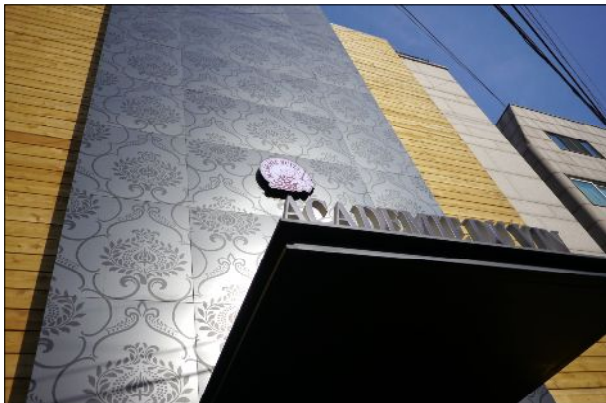




アカデミー・デュ・ヴァン ソウル校 開校記念イベント

# 『ソウルの審判 Judgment of Seoul』

with Steven Spurrier and Ned Goodwin MW



2011年5月4日(水)、先日ソウル市内にオープンした新しいアカデミー・デュ・ヴァンにて、『ソウルの審判 Judgment of Seoul』と題されたブラインド・テイasting・イベントが開催されました。1976年のパリ対決 Judgment of Paris に倣って、最高のフランスワインと新世界産ワインを、品種別に対決させるというものです。今回のチャレンジャーには、オーストラリアが選ばれました。

ゲスト・スピーカーとして当日参加し、コメントを披露したのは、われらがスティーヴン・スパリュア名誉校長と、日本在住のマスター・オブ・ワインであるネッド・グッドウィン MW 氏。グッドウィン氏は、イギリス生まれのオーストラリア育ちで、世界中のワインに通じていますが、とりわけオーストラリアワインに造詣が深いことで知られています。審査員としてテイastingに参加したのは、ソウル市内の一流レストランに勤務するソムリエたちと、ワイン・ジャーナリストたちの総勢26名。キャンセル待ちが多数出るほどの盛況なイベントとなりました。

まずはスパリュア名誉校長から、パリ対決とその後日談、30年後の再対決までの劇的なストーリーが語られます。このあたりのお話は、日本のアカデミー・デュ・ヴァンの皆様にはお馴染みのものですが、韓国ではこのエピソードを詳しく知らないプロもまだ多いのか、審査員たちはじっと話に聞き入っていました(詳細は以下のURLをご覧ください)。

<http://www.adv.gr.jp/cat/column/04.html>

続いて、ネッド・グッドウィン MW 氏より、昨今のオーストラリアワインの動向についてコメントがありました。アルコールがやたらと高く、濃厚なスタイルというイメージがいまだに強固な彼の国ですが、過去数年で急速な転換が進んでいるとのこと。広大な国土の中で冷涼な地域が注目を浴び、繊細かつエレガント、そしてアルコールも高すぎないスタイルが、高級銘柄では主流になりつつあるのです。この日のテイastingで選ばれたのも、この動向を反映したエレガントなワインばかりでした。



引き続き、テイastingが行われました。ピノ・ノワール2種、カベルネ・ブレンド2種、シラー／シラーズ2種の合計6種類で、スパリュア名誉校長、グッドウィン氏を含む全員がブラインドで試飲します。知らされているのはブドウ品種と、片方がオーストラリアで片方がフランスだということのみ。20点法で採点が行われました。

25分間の真剣なテイastingののち、スコアカードが回収され、集計されました。スパリュア氏、グッドウィン氏の採点結果も、コメントとともに披露されましたが、1976年のパリ対決と同じく、集計には含まれませんでした。テイastingに供された銘柄と、26人の審査員が付けた得点の合計は以下の通りです(点数の後に書かれた数字は、韓国国内での実勢小売価格)。

- 1) Clos de Vougeot 2006 / Château de la Tour  
(364.5点 / 18万ウォン)
- 2) Curly Flat Macedon Range Pinot Noir 2006  
(385.5点 / 未輸入)
- 3) Château Cos d'Estournel 2002  
(363.7点 / 19.5万ウォン)
- 4) Cullen Margaret River Diana Madeline Cabernet Merlot 2004 (377点 / 12万ウォン)
- 5) Clonakilla Canberra Shiraz Viognier 2005  
(401点 / 20万ウォン)
- 6) Côte Rotie Château d'Ampuis 2005 / Guigal  
(394.5点 / 21.2万ウォン)

1976年のパリ対決と同じく、またしても新世界ワインがすべての品種で完勝するという結果になりました！！ オーストラリアで優れたワインが造られていることは、現在では誰もが知っていることですから、さほど意外な結果ではないかもしれません。しかしながら、ブラインドでフランスワインと比べても、そのスタイルにおいて極めて近いところにあるという事実には、多くの審査員が感銘を受けた様子でした。以下は、スパリュア名誉校長とグッドウィン氏の採点結果です。

- 1) Clos de Vougeot 2006 / Château de la Tour  
(S: 17.5 / G: 15)
- 2) Curly Flat Macedon Range Pinot Noir 2006  
(S: 18 / G: 16)
- 3) Château Cos d'Estournel 2002  
(S: 16 / G: 16)
- 4) Cullen Margaret River Diana Madeline Cabernet Merlot 2004 (S: 18 / G: 18.5)
- 5) Clonakilla Canberra Shiraz Viognier 2005  
(S: 16.5 / G: 16)
- 6) Côte Rotie Château d'Ampuis 2005 / Guigal  
(S: 16.5 / G: 17)